

政策シート (政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
(予算費目名) 中央卸売市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標**
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営(市場経営展望)及び施設の整備を行う。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	797,867	565,586	703,428	720,595
決算	755,848	527,595	657,793	
人件費(A)	76,800	73,400	80,400	79,000
報酬(B)	307	260	281	357
年間経費(予算又は決算+A+B)	832,955	601,255	738,474	799,952

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
市場経営展望を策定する。			目標	策定	工程表の作成	工程表の作成	市場関係者と協議、調整
			実績	作成作業完了	基礎調査実施	情報収集	
卸売市場法改正による業務条例の改正			目標				市場関係者と協議、調整
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営(市場経営展望)及び施設の整備を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営を行うために第10次施設整備計画により、青果買荷積込所新築工事の第1期工事及び第2期工事を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	中央卸売市場事業				○	799,952	720,595	7.0	6.0		3.0	357
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						799,952	720,595	7.0	6.0		3.0	357

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 中央卸売市場事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行う。

◇事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。
 平成27年度に策定した「市場経営展望」は、開設者及び市場関係者が一体となり、市場の位置づけや役割、機能強化の方向性、市場施設の整備や運営のあり方等について、経営戦略的視点を持って策定する健全な市場運営のための指針です。今後については、「市場経営展望」に示された効率的な管理・運営を図り、新たな活気ある卸売市場の構築を目指して、市場関係者と協議、調整を行う。
 また、卸売市場法の改正が予定されている為、今後、業務条例の改正や新法の施行に合わせ事務手続きを行っていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	797,867	565,586	703,428	720,595
	決算	755,848	527,595	657,793	
	国・県支出		2,102	29,694	45,592
	市債				
	その他	386,512	150,592	241,375	310,621
	一般財源	369,336	374,901	386,724	364,382
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		307	260	281	357
人件費 (千円)		76,800	73,400	80,400	79,000
人工	正規	8.0	7.0	8.0	7.0
	再任用(h31)	2.0	3.0	3.0	6.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0	
	非常勤	3.0	3.0	3.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市場経営展望を策定する。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	策定	工程表の作成	協議、調整	協議、調整		
実績値	作成作業完了	基礎調査実施	情報収集	協議、調整		
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
卸売市場法改正による業務条例の改正						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値				協議、調整	条例改正	
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営の実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により市場の円滑な管理運営を行った。
今後の市場運営の検討資料作成のため、先進市場の調査を行った。
また、平成30年に市場法改正の情報があり、情報収集や市場関係者への研修会、説明会を実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
・市場運営の効率化や施設の再整備について市場関係者と協議、調整を進める。
・卸売市場法改正(案)が、1月通常国会に上程されたことにより、今後、業務条例の改正が必須となり、全国中央卸売市場協会と連携を図り情報収集に努め、市場関係者と協議、調整を行う。

政策シート (政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
(予算費目名) と畜場・市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標**
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	268,744	253,516	381,194	413,000
決算	245,931	242,036	354,071	
人件費(A)	37,600	38,600	38,600	42,200
報酬(B)	283	283	283	305
年間経費(予算又は決算+A+B)	283,814	280,919	392,954	455,505

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
市場取扱高(千円)	千円	5,000,000	目標	5,000,000	5000000	5000000	5000000
			実績	6147524	5725177	5307397	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。

課題
生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	と畜場・市場事業				○	455,505	413,000	5.0	2.0			305
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						455,505	413,000	5.0	2.0			305

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名)と畜場・市場事業

◇事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇事業の概要

総務費
 【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
 【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
 【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
 【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和28年度	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例	-		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	268,744	253,516	381,194	413,000
	決算	245,931	242,036	354,071	
	国・県支出				
	市債			57,300	98,100
	その他	5,568	4,091	4,353	4,358
	一般財源	139,879	126,173	156,197	152,414
	一般会計繰入金	100,484	111,772	136,221	158,128
人件費(報酬等) (千円)		283	283	283	305
人件費 (千円)		37,600	38,600	38,600	42,200
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	2.0
	再任用(h26)	1.0			
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市場取扱高(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000		
実績値	6,147,524	5,725,177	5,307,397			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

総務費
【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。
【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。
【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。
【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。
 公債費 設備投資による借り入れの返済
 予備費

・事業の成果と課題

指標の達成度

総務費
【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。
【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。
【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。
【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。

課題
 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、老朽化対策工事を進めていく。